

1,000株以上ご所有の株主様にはご所有株式数に応じて半年に一度株主優待券をお送りいたします。

京王電鉄
株主優待の
ご案内

ポイント1 **29,000株 乗車券116枚** **ご優待券** **ポイント2**

〈1,000株以上～30,000株未満ご所有の場合〉 **3,000株 乗車券 12枚** **〈30,000株以上ご所有の場合〉**

1,000株買い増すごとに **2,000株 乗車券 8枚** **優待パスに加えて**

電車全線優待乗車券が4枚増えます。 **1,000株 乗車券 4枚** **乗車券も発行します。**

株主優待乗車証	ご所有株式数	電車全線優待乗車券	優待バス
	1,000株以上～30,000株未満	1,000株につき4枚	—
	30,000株以上～57,000株未満	30枚	電車全線優待バス1枚
	57,000株以上	40枚	電車・バス全線優待バス1枚*

9月30日現在の株主の皆様 ▶ **11月末**送付 (有効期間12月～翌年5月)

3月31日現在の株主の皆様 ▶ **5月末**送付 (有効期間6月～11月)

株主優待についてのお問合せ
京王電鉄 法務部法務担当 **042-337-3114**

*京王電鉄バス、京王バス東、京王バス中央、京王バス南、京王バス小金井各社の路線をご利用いただけます。
なお、高速バス・空港直行バス・深夜急行バス等特殊バス、西東京バスはご利用になれません。

下記京王グループ各社でも特典充実。ぜひご利用ください。

<p>京王百貨店 お買物優待券 1,000株以上～5,000株未満 10枚 5,000株以上～10,000株未満 20枚 10,000株以上 30枚</p> <p>お買物金額10%割引 (3,150円以上のお買上げにつき)</p>	<p>京王プラザホテルチェーン 割引ご優待券 1,000株以上～10,000株未満 10枚 10,000株以上 20枚</p> <p>宿泊20%割引 飲食サービス料(10%)無料 (2,100円以上のご利用につき)</p>	<p>京王観光 割引ご優待券 1,000株以上～10,000株未満 10枚 10,000株以上 20枚</p> <p>キングツアー 5%割引 その他のパッケージツアー 3%割引</p>
<p>京王自動車 割引ご優待券 1,000株以上 2枚</p> <p>車検・点検・整備の工賃10%割引</p>	<p>京王運輸 割引ご優待券 1,000株以上 2枚</p> <p>引越料金20%割引</p>	<p>京王アートマン お買物優待券 1,000株以上 5枚</p> <p>お買物金額10%割引 (1,050円以上のお買上げにつき)</p>
<p>京王グリーンサービス (フラワーショップ京王) お買物優待券 1,000株以上 10枚</p> <p>お買物金額10%割引 (2,000円以上のお買上げにつき)</p>	<p>京王食品 (ベーカリーショップルバ BAKERY&CAFE ルバ プーランジェリールバ) お買物優待券 1,000株以上 10枚</p> <p>お買物金額10%割引 (1,000円以上のお買上げにつき)</p>	<p>京王不動産 割引ご優待券 1,000株以上 1枚</p> <p>売買仲介手数料10%割引</p>

INVESTOR'S GUIDE けいおう 2008年11月発行
発行/京王電鉄株式会社 〒206-8502 東京都多摩市関戸1-9-1
お問合せ/経理部 企画担当 042-337-3166
京王ホームページ www.keio.co.jp/



2008年度 中間報告 2008.4.1～2008.9.30

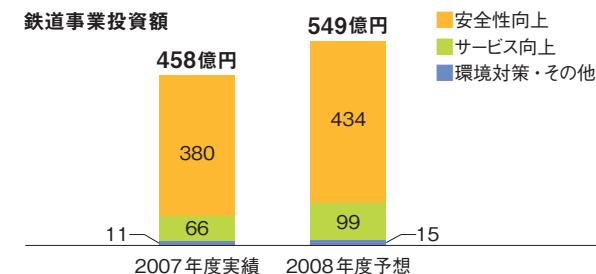
INVESTOR'S GUIDE

けいおう

証券コード: 9008

KEIO 京王

鉄道事業への設備投資を継続して進めています



2010年度の京王線・井の頭線全線への導入を目指し、車両へのATC装置の搭載を進めました。また、信号ケーブル等の敷設と機器室の整備を推進し、相模原線で整備を完了しました。今後もATCシステムの試験を継続し、ケーブル敷設および車両へのATC装置の搭載などを順次進めます。

調布駅付近連続立体交差事業の推進

国領駅～調布駅間において、6月からシールドマシン（トンネル掘削機）によるトンネル掘進を開始するなど、2012年度の完成を目指して引き続き調布駅付近連続立体交差事業を進め、9月には調布駅の仮橋上駅舎の使用を開始しました。今後も調布駅および布田駅の線路下の掘削工事を継続するとともに、調布駅～西調布駅間から新宿方面に向かって2台目のシールドマシンが発進する予定です。18ヶ所の踏切を除去し、交通渋滞や踏切事故の解消を図り、総合的な街づくりに寄与します。



使用を開始した調布駅の仮橋上駅舎

自動列車制御装置(ATC)の導入

さらなる安全性の向上を図るため、列車の走行速度を適正に制御するATC装置を導入します。

駅のバリアフリー化等の推進

9月に桜上水駅の橋上駅舎化工事が完了し、バリアフリー設備を設置したほか、踏切を渡らずに駅の南北を行き来できる自由通路を整備しました。今後は、永福町駅や百草園駅などの工事に着工し、2010年度までに全駅のバリアフリー化を目指します。

新造車両の導入

さらなる利便性の向上と環境対策の一環として、京王線9000系車両40両を新造しました。また、京王線7000系車両8両をバリアフリー化・省エネルギー化改造しました。今後は井の頭線1000系車両も新造するなどし、2010年度までに京王線・井の頭線の全車両のバリアフリー化、省エネルギー化を完了する予定です。



井の頭線1000系車両

「信頼のトップブランド」の確立に向けて 「鉄道事業における安全性の向上」と、 さらなる「沿線価値向上策への取り組み」を 展開しております。

京王電鉄株式会社 代表取締役社長 **加藤 真**



平素は、京王グループをご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

当上半期の京王グループは、堅実かつ効率的な事業活動を展開し、引き続き収益力の向上に努めてまいりましたが、特定都市鉄道整備準備金取崩額の特別利益への計上が前期で終了したことなどもあり、当第2四半期連結累計期間の純利益は106億円となりました。また、当期の中間配当金につきましては、1株につき3円と決定いたしましたので、あわせてご報告申し上げます。今後も、中間配当金を含む年間配当金を6円とすべく、利益の確保に努めてまいります。

「安全の確保」と「沿線価値向上策」を 着実に進めております

京王グループでは「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現を目指し、「鉄道事業の安全性と利便性の向上」と「沿線価値向上策への取り組み」を経営の大きな柱として、取り組んでおります。

鉄道事業では、法令等で定められた期限内に整備を完了させるため、自動列車制御装置(ATC)の導

入工事などの安全性向上策や、駅や車両のバリアフリー化工事などの利便性向上策を着実に推進するとともに、調布駅付近連続立体交差事業を継続して進めております。さらに、安全性の確保は最大の使命であり、最高のサービスであると考え、「運輸安全マネジメント」への取り組みを通して、事故の未然防止策を講じております。これらの施策を強力に進めるため、当期の鉄道事業投資額は549億円を見込んでおります。

また、「沿線価値向上策への取り組み」につきましては、「沿線活性化策の推進」と「グループ事業競争力の強化」を推進しております。沿線を活性化し、魅力を高める諸施策を積極的に進めることで、将来にわたって当社沿線が活力を維持できるように取り組んでいくほか、沿線内外においてグループ事業の拡大と、競争力の強化を図ってまいります。

引き続き、京王グループの企業理念である「信頼のトップブランド」の確立を目指して、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年11月

住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり

京王グループでは「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、鉄道事業における施策(3ページ参照)のほかにもグループ全社をあげて、沿線の住みやすさを向上させる様々な施策や、グループ事業競争力の強化に取り組んでいます。

沿線活性化策の推進

高尾山をテーマにPRキャンペーンを実施



高尾山

沿線活性化策の推進

学生マンション「フィシオ京王八王子」を建設中(2009年3月竣工予定)

京王八王子

北野

沿線活性化策の推進

商業施設「京王リトナード北野」開業(12月4日予定)

多摩動物公園



橋本

高幡不動

百草園

聖蹟桜ヶ丘

府中

東府中

沿線活性化策の推進

京王自動車桜ヶ丘営業所跡地開発「事務所・商業施設」を建設中(2009年春竣工予定)

調布

府中競馬正門前

京王多摩センター

京王線

千歳烏山

グループ事業競争力の強化

12月のオープンに向け、京王プラザホテルの大宴会場「コンコードボールルーム」の全面改装を実施しています。デザインを一新するなど機能性と商品力を向上させることで、競争力の強化を図ります。

京王プラザホテル「コンコードボールルーム」を改装



京王プラザホテル(新宿)(左)、大宴会場「コンコードボールルーム」(完成予想図)(上)

沿線活性化策の推進

建築家が企画設計する空間志向賃貸住宅「Hi-ROOMS 明大前A・B」竣工(5月・6月)



吉祥寺

新宿

永福町

明大前

桜上水

井の頭線

渋谷

沿線活性化策の推進

单身～家族向け賃貸マンション「アコルト新宿落合」を建設中(2009年4月竣工予定)



(完成予想図)

五反田

沿線活性化策の推進

家事代行「ホームほっとサービス」を開始

「京王ほっとネットワーク」では、沿線の方々の様々なニーズに応え、暮らしに役立つ「生活サポートサービス」の一環として、「住まいのメンテナンス」に続いて4月から、家事代行「ホームほっとサービス」を開始(調布市以西のエリア)。さらにお客様の生活利便性向上に寄与しています。



沿線活性化策の推進

永福町駅ビルを建設

永福町駅では、橋上駅舎化工事にあわせて駅ビルの建設工事を実施し、商業施設を新たに展開します。「京王ストア」のリニューアルと物販・飲食等の新規店舗の展開や、地域コミュニティスペースの創設などを行います。2009年度に駅をバリアフリー化し、2010年度に駅ビルを含めてランドオープンする予定です。



(完成予想図)

グループ事業競争力の強化

「京王プレッソイン五反田」がオープン

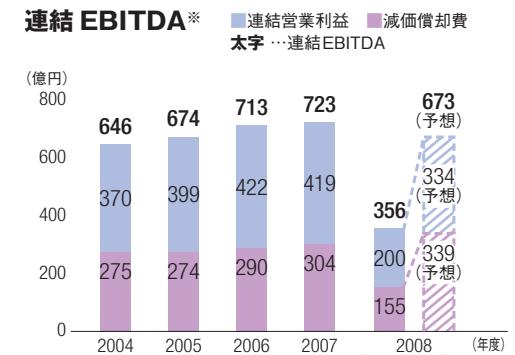
5月にチェーン6店舗目となる「京王プレッソイン五反田」がオープンしました。五反田駅から徒歩3分という好立地ながら、リーズナブルな価格を実現した宿泊特化型ホテルです。引き続き池袋(2009年春オープン予定)、九段下(2009年夏オープン予定)の開業準備を進めています。



決算のポイント

POINT 1 **連結営業収益が前年同期並みの2,080億円となりました**
 運輸業、不動産業などで増収となりましたが、流通業、レジャー・サービス業で減収となり、ほぼ前年同期並みの2,080億円(前年同期比0.2%減)となりました。

POINT 2 **連結四半期純利益が106億円(前年同期比22.2%減)となりました**
 連結四半期純利益は、特定都市鉄道整備準備金取崩額の特別利益への計上が前連結会計年度で終了したことなどもあり106億円(前年同期比22.2%減)となりました。



通期の見通し
 連結営業収益は、ほぼ前期並みの4,257億円(前期比0.8%減)を見込んでおります。また、連結当期純利益につきましては、鉄道事業の設備投資にともなう減価償却費の増加や、特定都市鉄道準備金取崩の終了による特別利益の減少などにより162億円(前期比10.6%減)を見込んでおります。

※財務諸表作成にあたって、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。本紙に記載いたしました前年同期比較に係る分析は、参考として記載したものです。

セグメント概況



※セグメント概況に記載の営業収益および営業利益には、事業セグメント間取引を含みません。
 ※構成比率は、事業セグメント間取引を含む営業収益および営業利益に対する比率です。

運輸業
営業収益 668億円(前年同期比0.4%増)
営業利益 98億円(前年同期比23.2%減)
 ●京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バス、京王自動車、他7社
 鉄道事業では、旅客運輸収入で、共通ICカード乗車券の導入にともなう集計方法変更の反動減があったものの、沿線における大規模マンションの建設が続いているほか、周辺の集客施設等への輸送も堅調に推移したことなどから、前中間連結会計期間に比べ0.7%増加し増収となりました。バス事業でも、路線バスが堅調であり、高速バスでも前年12月に静岡線の運行を開始したほか、既存の中央高速バスが好調であったことなどにより増収となりました。

流通業
営業収益 912億円(前年同期比0.3%減)
営業利益 33億円(前年同期比2.8%減)
 ●京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、他6社
 ストア業では、前年12月にオープンした「キッチンコート」東中野店が当第2四半期連結累計期間の通期で収益に寄与したことなどにより増収となりました。書籍販売業でも「啓文堂書店」の新規出店や、前期に開業した店舗が通期稼働したことなどにより増収となりました。一方、百貨店業では、外資部門は前年同期並みの収益となったものの、天候不順や消費の低迷により衣料品を中心に店頭売上が不振であったことなどから減収となりました。

不動産業
営業収益 119億円(前年同期比3.3%増)
営業利益 47億円(前年同期比6.1%増)
 ●京王電鉄(開発)、京王不動産、京王地下駐車場
 不動産賃貸業では、前年12月にサブリースの商業施設「ユニゾンモール東中野」が、2月に「京王元本郷老人ホーム」が稼働したほか、6月に下北沢で商業施設「ビッグベン」を新規取得するなど、賃貸資産の拡充を図ったことなどにより増収となりました。不動産販売業では、前期に引き続き八王子みなみ野シティおよび多摩境で新築戸建住宅「京王四季の街」を販売し、前年同期並みの収益となりました。

レジャー・サービス業
営業収益 360億円(前年同期比1.6%減)
営業利益 18億円(前年同期比27.9%減)
 ●京王プラザホテル、京王観光、京王エージェンシー、他4社
 ホテル業では、「京王プレッソイン」の茅場町を3月に、五反田を5月にそれぞれオープンしましたが、「京王プラザホテル(新宿)」で6月から大宴会場「コンコードボールルーム」を改装のため営業休止としていることなどにより減収となりました。広告代理業でも、一般広告および交通広告の取扱い減少により減収となりました。

その他
営業収益 200億円(前年同期比0.6%増)
営業利益 4億円(前年同期比37.5%減)
 ●京王設備サービス、京王重機整備、京王建設、他8社
 建築・土木業では、前中間連結会計期間に大型物件の完成があったことなどにより減収となりました。一方で、車両整備業では、完成工事の増加などにより増収となりました。

※当社は運輸業、流通業、不動産業、その他に重視して含まれています。

第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	(ご参考)	
	前中間連結会計期間 自 2007年4月1日 至 2007年9月30日現在	当第2四半期 連結累計期間 自 2008年4月1日 至 2008年9月30日現在
資産の部		
流動資産	118,358	85,757
固定資産	541,803	552,250
① 資産合計	660,161	638,007
負債の部		
流動負債	179,443	159,859
固定負債	236,532	229,449
② 負債合計	415,976	389,308
純資産の部		
株主資本	226,482	231,677
評価・換算差額等	17,703	17,021
純資産合計	244,185	248,698
負債純資産合計	660,161	638,007

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

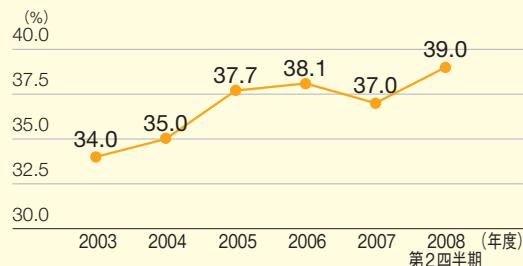
科目	(ご参考)	
	前中間連結会計期間 自 2007年4月1日 至 2007年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2008年4月1日 至 2008年9月30日
営業収益	208,505	208,091
営業費	184,858	188,035
営業利益	23,647	20,056
営業外収益	1,254	1,550
営業外費用	2,500	2,968
経常利益	22,401	18,638
特別利益	2,275	161
特別損失	1,511	563
税金等調整前四半期(中間)純利益	23,166	18,236
法人税等	9,414	7,541
四半期(中間)純利益	13,752	10,694

(備考)記載の金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

自己資本の充実

当社の自己資本比率は、高い水準を維持しており、ここ数年を見ても着実に増加の傾向にあります。これは積極的な設備投資を進める一方で、経営基盤の強化に必要な内部留保の確保にも努めた結果です。自己資本の充実、健全な財務状況を反映しています。

自己資本比率の推移(連結)



① 資産合計の減少 △22,154百万円

設備投資の進捗により固定資産が増加しましたが、工事代金の支払いによる現金及び預金など流動資産の減などにより、減少しました。

② 負債合計の減少 △26,667百万円

工事代金の支払いや第21回無担保社債の償還などによる流動負債の減などにより、減少しました。

③ 営業活動によって得られたキャッシュ・フローの減少 △11,287百万円

税金等調整前四半期純利益の減少や法人税等の支払額の増加により、減少しました。

④ 投資活動に使用されたキャッシュ・フローの増加 +11,511百万円

鉄道事業を中心とした設備投資の進捗による有形固定資産の取得などにより、増加しました。

⑤ 財務活動によるキャッシュ・フローの減少 △296百万円

社債の償還や借入金の返済などにより、ほぼ前年同期並みの資金流出となりました。

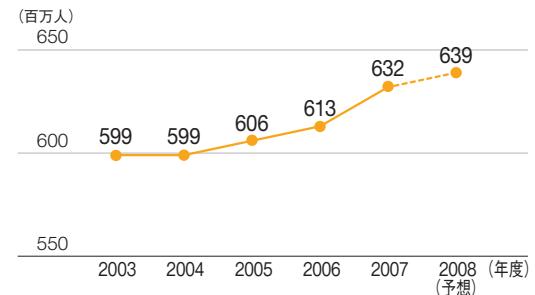
四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)

科目	(ご参考)	
	前中間連結会計期間 自 2007年4月1日 至 2007年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2008年4月1日 至 2008年9月30日
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	33,624	22,337
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,934	△32,445
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,103	△20,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額	△7,410	△30,507
現金及び現金同等物の期首残高	43,516	58,167
現金及び現金同等物の 四半期末(中間期末)残高	36,105	27,660

鉄道輸送人員の推移

京王グループでは、沿線の活性化や利便性の向上を図るため、鉄道事業において、安全性の向上、輸送力の増強、バリアフリー化の推進など競争力の強化に積極的に取り組むとともに、グループ一丸となって生活関連事業の強化などを行ってきました。

輸送人員は1998年度から10期連続で増加し、沿線人口も2007年は前年比1.3%増、2008年は前年比1.2%増と着実に増加しており、当社沿線の事業環境は順調に推移しています。



良好な格付けを維持

当社では、事業の効率的な運営と財務体質の強化に取り組んできました。近年は鉄道事業における安全性と利便性の向上策をはじめ、沿線活性化とグループ事業競争力を強化するための諸施策などに、安定的なフリーキャッシュ・フローを活用しながら、積極的な投資を行っています。

このように、健全な財務体質を維持しながら、着実な事業展開を行っていることなどが評価されて、1998年から継続して日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを得ています。

より詳しいIR情報はこちら

当社ホームページでは、投資家の皆様に役立つ情報を「IR・企業情報」のコーナーに掲載しておりますのであわせてご覧ください。

www.keio.co.jp/



会社概要

(2008年9月30日現在)

会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1
資本金	590億23百万円
従業員数	2,343名

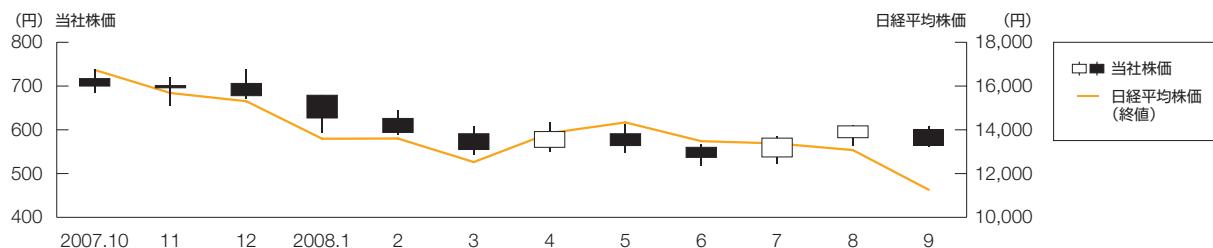
役員一覧

(2008年9月30日現在)

代表取締役社長	加藤 隼	取締役	内藤 雅浩
代表取締役専務	下村 良太	取締役	林 静男
常務取締役	松木 謙吉	取締役	五味 保雄
常務取締役	田中 茂生	取締役	志村 康洋
常務取締役	永田 正	取締役	山本 敏雄
取締役	宮地 徳文	取締役	鈴木 康
取締役	狩野 俊昭	取締役	春山 暁
取締役	川杉 範秋	常勤監査役	鈴木 豊明
取締役	早崎 博	常勤監査役	黒岩 法夫
取締役	石橋 三洋	監査役	久米 信介
取締役	島倉 秀市	監査役	鈴木 光春

株価の推移

(2007年10月～2008年9月)



株式の状況

(2008年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,580,230,000株
発行済株式の総数	642,754,152株
株主数	39,627名

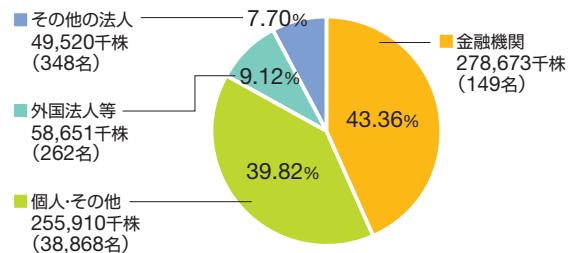
大株主

株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	44,948	6.99
第一生命保険相互会社	31,750	4.94
太陽生命保険株式会社	29,310	4.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,586	3.05
住友信託銀行株式会社	18,240	2.84

(注1)出資比率は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する比率を表示しています。
(注2)当社は自己株式を31,489千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式分布状況

(2008年9月30日現在)



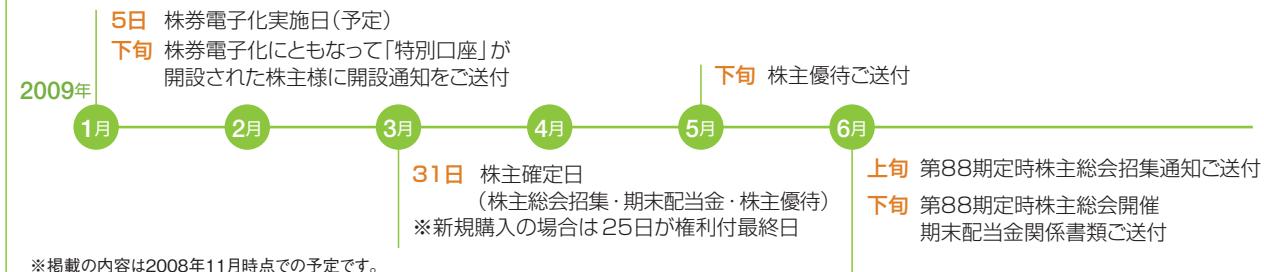
株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日 (株主確定日)	定時株主総会議決権確定 3月31日 期末配当金および株主優待 3月31日 中間配当金および株主優待 9月30日
公告の方法	当社ホームページに掲載します。 (www.keio.co.jp/kigyو/ir/koukoku.html)
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社

株式に関するお手続きの詳細につきましては、以下までお問合せください。

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行 証券代行部
電話照会先 [住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 (24時間受付)
[その他の照会] ☎ 0120-176-417 (平日9:00~17:00 土・日・祝休)
※名義書換、配当金などに関するお問合せは上記[その他の照会]にお電話ください。
※株主名簿管理人(住友信託銀行)のホームページ(www.sumitomotrust.co.jp)にも、「株式に関する手続き」や「よくあるご質問」が掲載されています。
※株券電子化後の住所変更等のお届出およびご照会は、株主様が口座を開設されている証券会社(株券電子化前に証券会社に口座を開設されていない場合は上記[住所変更等用紙のご請求])宛にお願いいたします。

株主カレンダー



※掲載の内容は2008年11月時点での予定です。

株券電子化にあたってのご注意点

来年1月5日にすべての上場会社の株券が電子化される予定です。株券電子化の前後は、株式のお取扱いが一部制限される場合がありますので、ご注意ください。

単元未満株式をご所有の方

単元未満株式の買増請求は本年12月11日から、また買取請求は本年12月22日から、来年1月4日まで(特別口座株主は、来年1月5日以降約3週間の間について)受付が中止となります。

株券のままお持ちの方*

株券電子化実施前約2週間は、お手持ちの株券を株式市場で売却することができなくなります。また、株券電子化実施後約3週間は、特別口座の記録整備に時間を要するため、株式の売却ができなくなります。

※「株券のままお持ちの方」は、必ず株券の裏面に記載されている名義をご確認ください。名義がご本人と異なる場合は、すぐに当社株主名簿管理人 住友信託銀行 ☎0120-176-417 までご連絡ください。

その他、株券の電子化に関してご不明な点がございましたら、お早めに株券電子化コールセンター(☎0120-77-0915 平日・土・日 9:00~17:00)までお問合せください。
※株券電子化コールセンターは株式会社証券保管振替機構日本証券業協会・株式会社東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。